

国民の世論と運動で、「社会保障・税一体改革」をやめさせ、社会保障拡充への転換を！

ほっかいどうの社会保障

2019年6月21日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

社会保障を充実させ、平和でみんながしあわせになる社会に

北海道社保協総会開く 深刻な実態やたたかいを交流

6月15日、第26回北海道社保協定期総会が札幌市内で行われ、道内の地域社保協や労働組合、団体などから48人が参加しました。

総会では、1年間の活動をまとめ、今後の方針、役員体制を確認しました。

新会長に 堺 慎さん を選出

会長は、大橋晃さんが勇退し、新たに、堺慎さん(医師:北海道民医連顧問)が選出されました。

各分野から、安倍政権の下、社会保障が改悪され格差と貧困が広がる一方、当事者を先頭に共同した取り組みが広がっていることなどが報告されました。



① 日常の相談活動の重要性と限度額認定証発行問題

(道生連)

② 年金裁判の判決について

(年金者組合)

③ 子ども医療費無料化充実の運動

(新婦人)

④ 国保料引き下げ全国署名に奮闘しましょう

(道生連)

⑤ 権利としての社会保障と福祉運動

(福祉保育労)

⑥ 道医労連のとりくみについて

(道医労連)

⑦ 札幌市長選挙の取り組み

(札幌社保協)

⑧ 小樽社保協の取り組み、社保学校の案内

(小樽社保協)

⑨ 地域社保協の活動について

(札幌北区社保協)

⑩ 国の責任で医療と介護の充実を求める取り組み

(北海道民医連)

安倍政権は、参議院選挙後、さらに社会保障を大改悪しようとしています。また、2019年度は、2020年度からの診療報酬や後期高齢者保険料の見直し、北海道国保運営方針の中間見直し、北海道医師確保計画の策定、北海道子ども未来計画の見直しなどが行われます。今年の活動の4つの重点、当面、参議院選挙で、社会保障も大きな争点に押し上げていく取り組みを確認しました。

《2019年度・活動の重点》 ①25条をはじめ憲法をくらしに活かし「憲法改悪・消費税増税・TPP参加」に反対し、関係諸団体と共同して社会保障改悪に反対し、国の責任による社会保障の拡充をめざします。②医療費適正化、国保都道府県単位化政策など、市町村の裁量を奪う攻撃が強まる中、市町村といっしょに誰もがくらし続けられる自治体地域づくりをめざします。③生活保護バッシングを打ち破り、孤立死や貧困をなくす取り組みをすすめます。④当事者のたたかいに連帯し、共同の取り組みをひろげ社保協の組織強化をめざします。

記念講演は「消費税10%はまだ止められる」

井上 元美さん(北商連事務局長)

10月消費税10%ストップ！北海道ネットワークの事務局長でもある北商連の井上元美事務局長が、10月から予定の「消費税10%はまだ止められる」と題

して記念講演しました。そもそも消費税とはどういう税金か、10%増税の問題点、税の集め方や使い方、増税反対の新たな動きなどを説明し、増税ストップも運動を呼びかけました。



今年の社会保障学校は 小樽

とき 10月14日(月・休) 10時～16時

ところ 小樽経済センタービル7階大ホール・4階ホール

記念講演「住み続けられる社会を」

河合克義氏(明治学院大学学長特別補佐・名誉教授)

分科会

国保・介護・子どもの虐待・社会保障講座

参加費

1500円